

新型コロナワクチン接種について

雄武町では、2月1日から65歳以上の人への新型コロナワクチン追加接種（3回目接種）を行っており、一般の人（64歳以下）への追加接種は、3月14日（月）の開始を予定しています。2回目接種から6～7か月経過した人には、2月下旬から「接種券付き予診票」の発送とあわせて順次個別案内していますので、お手元に届きましたら内容をご確認のうえ、希望する人は予約をお願いします。

● 予約方法

インターネット予約または電話予約
※詳しくは、個別案内通知をご確認ください。

● ワクチンの種類

武田／モデルナ社製（スパイクバックス筋注）
※10代・20代の男性に限りファイザー社のワクチンも選択可能

● 実施医療機関

・雄武町国民健康保険病院
・山口クリニック

◀ 1・2回目接種について ▶

1・2回目接種がまだお済ではなく、希望する人は雄武町コロナワクチンコールセンター（☎0120-006-326）までご連絡ください。
後日、日程を調整してお知らせします。

問雄武町新型コロナウイルス感染症対策室予防接種係



北海道ワクチン接種センターが設置されました

北海道では、市町村における新型コロナワクチン接種を支援するため「北海道ワクチン接種センター」を設置しました。

北海道ワクチン接種センターでの接種を希望する人は、WEB予約、電話予約により直接お申込みください。

● 接種会場

ホテルエミシア札幌（札幌市厚別区厚別中央2条5丁目）

● 開設期間

3月27日（日）までの土曜日・日曜日・祝日
接種受付：9時45分～17時

● 接種対象者

追加接種（3回目接種）を希望する人
※道内の市町村が発行した追加接種用の接種券をお持ちの人

● ワクチンの種類

武田／モデルナ社製ワクチン（スパイクバックス筋注）

● 予約方法

・WEB予約：<https://jump.mrso.jp/hokkaido/>
・電話予約：050-3851-0181



問雄武町新型コロナウイルス感染症対策室予防接種係



まちのできごと

2/4

武雄市児童交流事業

武雄っ子とオンライン交流

雄武小学校の教室において雄武の児童と佐賀県武雄市の児童たちが、オンラインで交流を行いました。本来であれば、この日から武雄市の児童たちが来訪し、交流しあう予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの交流となりました。

久しぶりの顔合わせにお互い少し照れている様子も見られましたが、終始和やかに交流が行われ、都市間の友情を温めあいました。



↑モニター越しに交流をする児童たち



↑表彰状を手にする川口氏（左）、高宮氏（中左）、中島氏（中右）、相坂氏（右）

2/18

北海道善行賞、北海道交通安全推進委員会会長表彰およびオホーツク地区交通安全推進協議会交通安全功労賞

地域の交通事故防止に貢献

この度、永年にわたる交通安全の実践活動と交通安全思想の普及に尽力された功績がたたえられ、北海道善行賞および北海道交通安全推進委員会会長表彰に川口康弘氏、高宮博氏が受賞。北海道交通安全推進委員会会長表彰に今哲氏が受賞。オホーツク地区交通安全推進協議会交通安全功労賞に中島ミユキ氏、相坂奈穂美氏が受賞されました。5人の受賞を心からお祝い申し上げますとともに今後のご活躍を祈念いたします。

2/25

ごみ収集車お披露目

新しいごみ収集車を配備

役場庁舎前で、新たに配備されたごみ収集車の検定とお披露目が行われました。お披露目では、ごみ収集車のカギが雄武町公認キャラクターのいくらすじ子から、ごみ収集の委託業者である雄武自工有限会社代表取締役の佐藤光一氏に手渡されました。新たに配備されたごみ収集車は、排気量が5,190ccで、最大積載量は6.8tと従来のごみ収集車（最大積載量2t）の約3倍の積載量があり、町内のごみを効率よく収集・運搬することができ、町の環境衛生の維持などの活躍が期待されます。



↑新たに配備されたごみ収集車



↑ヒンメリを組み立てる参加者

2/27

光のモバイル「ヒンメリ」ワークショップ

麦わらの伝統手芸に挑戦

雄武町図書館「雄図びあ」で、えんがるヒンメリの会 aurinko（アウリンコ）代表の江面陽子氏と柳田舞美氏を講師に招き、麦わらと刺しゅう糸で立体的な幾何学模様を組み立てるスウェーデンの伝統的な装飾品である『ヒンメリ』のワークショップがオンラインで開催されました。参加者はヒンメリの魅力に熱中し、講師の指導を受けながら基本の八面体のほかに、しづく型などの複雑な形に挑戦していました。参加者は「思っていたよりも簡単に作ることができて面白かった。また機会があれば参加したい」と話してくれました。